

第三次富士市情報化計画の進捗状況について

1. 計画概要

第三次富士市情報化計画は、本市における情報化施策を総合的・計画的に推進していくため、計画期間を平成 29 年度から 32 年度の 4 年間とし、134 の情報化事業を定めた。

2. 実施状況

本計画の初年度である平成 29 年度における情報化事業の実施状況は、表 1 に示すとおりであり、全 134 事業中、完了が 1 事業、実施中が 132 事業、中止が 1 事業であった。完了、中止とした事業及びその理由は、表 2 に示すとおりである。

表 1 実施状況

事業分類	完了	実施中	中止	未実施	合計
1 重点事業	0 件 (0%)	13 件 (100%)	0 件 (0%)	0 件 (0%)	13 件
2 推進事業	1 件 (4%)	23 件 (92%)	1 件 (4%)	0 件 (0%)	25 件
3 継続事業	0 件 (0%)	96 件 (100%)	0 件 (0%)	0 件 (0%)	96 件
合計	1 件 (1%)	132 件 (98%)	1 件 (1%)	0 件 (0%)	134 件

表 2 完了・中止とした事業

実施状況	事業名称	理由
完了	介護情報連携システムの導入	県医師会が運用を開始した静岡県在宅医療・介護連携情報システムを普及させることで、情報連携というシステムの導入目的を達成できたため。
中止	福祉相談情報共有システムの導入	国・県の見解により、守秘義務のため、相談情報の共有が出来ないことが判明したため。

3. 評価結果

情報化事業の所管部署において、進捗状況、コスト、取組内容の 3 つの観点で、平成 29 年度末時点での自己評価を実施した。

表 3 評価結果

事業分類	S	A	B(普通)	C	D	合計
1 重点事業	0 件(0%)	3 件(23%)	10 件(77%)	0 件(0%)	0 件(0%)	13 件
2 推進事業	0 件(0%)	4 件(16%)	20 件(80%)	1 件(4%)	0 件(0%)	25 件
3 継続事業	0 件(0%)	27 件(28%)	62 件(65%)	7 件(7%)	0 件(0%)	96 件
合計	0 件(0%)	34 件(25%)	92 件(69%)	8 件(6%)	0 件(0%)	134 件

評価の結果、表 3 に示すとおり、全 134 事業中、評価 A が 34 事業、評価 B が 92 事業となり、B 評価以上が全体の 94% を占めた。一方で、評価を C とした事業が 8 事業あったが、主な原因は、計画策定時点に予定していた経費よりも実績額が上回ったことによるものであった。

4. 重点事業の進捗状況

本計画では、重要度の高い事業として、13 事業を重点事業と定めた。平成 29 年度末時点での重点事業の現況及び評価結果は表 4 に示すとおりである。

表 4 重点事業の現況と評価

事業名称		現況(段階)	評価
1	マイナンバーカードを活用したサービスの拡充	調査・検討	B
2	子育てワンストップサービスの提供	運用・実施	B
3	ICT を活用した新しいワークスタイルの研究	調査・検討	B
4	情報化推進体制の強化	導入準備	B
5	ICT-BCP の策定	運用・実施	B
6	情報セキュリティ対策の運用	運用・実施	B
7	オープンデータの提供・活用	運用・実施	B
8	公衆無線 LAN 環境のあり方の検討	運用・実施	A
9	シティプロモーションの推進	運用・実施	A
10	観光プロモーションの推進	運用・実施	B
11	最適な情報提供手段の見直し	運用・実施	B
12	富士市災害情報共有システムの構築	運用・実施	B
13	富士市結婚相談・縁結び支援事業	運用・実施	A

5. 平成 30 年度新規事業

今年度、新たに取り組む事業は、「AI・IoT の行政サービスへの活用(情報政策課)」「官民データ活用推進基本法に関する事項の情報化計画への反映(情報政策課)」「水道施設監視システムの運用(水道維持課)」の 3 事業である。

6. 今後の課題

実施状況及び評価結果から、多くの事業が順調に進捗していることがわかった。これらの事業については、今後も継続した取組を進めていく。一方で、C 評価とした 8 事業は、計画の見直し等、課題解決に向けた取組を実施していく。